

児童発達支援

児童発達支援は未就学のお子様を対象です。

放課後等デイサービスの理念に基づき、心・体・社会等の広い視点で、「より良い在り方」を考える姿勢を大切に支援の工夫をしていきたいと考えています。

あさがおねっと大和田では感覚統合がうまく行われるよう段階に応じて感覚を育てる工夫をしています。感覚の偏りから、感覚統合がうまく行われていないために周囲から、いわゆる問題行動に見えてしまう事があります。多くの困りごとの中で特に顕著にみられる事象として

①コミュニケーションに困難が起きやすい ②怠けていると誤解されやすい ③乱暴な子と誤解されたり、集中が出来ず頻繁に注意されやすい

等、様々な問題行動が誤解を生じてしまうケースも少なくありません。子どもの感覚は積み木を積み上げるように発達していくと考えられます。

これらの感覚を適切に処理し、統合していくことで、人は自分の身体や周囲の環境を理解して適切な反応や行動を取ることができるとされています。

健康・生活

健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの習得、生活リズムの形成の支援方法を考えます。日常の遊びや学習機会を利用した支援、環境の配慮を工夫します。

運動・感覚

運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な身体の感覚・感触に触れ感覚の成長を支援します。これらは体の動きをコントロールするだけでなく、気持ちのコントロールにも役立ちます。遊びの中で育みます

人間関係・社会性

子集団での遊びを通して順番交代や役割などルールを守る、社会に適應する為、必要なスキルを支援します。感情に気付く、対処法を考えるなど気持ちのコントロールの練習をします。子どものペースに合わせて関わり支援員との信頼関係も大切に一緒に SST へと繋げるよう支援します。

言語・コミュニケーション

自分の要求や困っている事を伝える事が出来るよう自己発信力を身に付ける支援を行い、模倣や観察するなど、自分も周囲の人も大切にするコミュニケーションを学びます。ジェスチャー・カード等子どもにあった方法を考え支援します

認知・行動

少しだけ嫌な事も頑張ってみる課題に取り組む姿勢・力を身に付けるよう支援します。やってよかった、楽しい！と感じられるように関わり方や内容を工夫していきます。

地域支援

定期的に関係機関に連絡を入れ、報共有を図り、今後の支援に繋がっていきます。

家族支援

保護者面談を定期的に設け、事業所での様子を伝えるとともに家庭での様子を聞き取り、情報を交換出来るようにします。また保護者様の心配事への助言を行います。

移行支援

卒業後やその他、移行先にスムーズに移行が出来るよう、各連携機関との連携を図り、調整を行います。